

# 2013年3月期 決算説明会

2013年5月10日

日本システムウェア株式会社

代表取締役執行役員社長 多田 尚二

Humanware By Systemware

# 1. 前期業績

# 連結業績概要

(単位:百万円)

	2012/3期 実績	期初計画	2013/3期		
			実績	前期比 (増減率)	計画比 (増減率)
売上高	24,484	25,000	26,007	+6.2%	+4.0%
営業利益	1,012	1,000	1,124	+11.1%	+12.5%
同率	4.1%	4.0%	4.4%	+0.3p	+0.4p
経常利益	1,018	1,000	1,164	+14.3%	+16.4%
同率	4.2%	4.0%	4.6%	+0.4p	+0.6p
当期純利益	221	560	390	+76.7%	△30.2%
同率	0.9%	2.2%	1.6%	+0.7p	△0.6p

- 営業活動に注力、ならびに販管費の抑制に努め、増収増益
- 山梨ITセンター未使用地の減損損失などを特別損失として計上

# セグメント別業績

(単位:百万円)

		2012/3期 実績	期初計画	2013/3期 実績	前期比 (増減率)	計画比 (増減率)
IT ソリューション	売上高	15,629	16,000	16,694	+6.8%	+4.3%
	営業利益	589	550	566	△3.8%	+3.1%
	同率	3.8%	3.4%	3.4%	△0.4P	+0.0p
プロダクト ソリューション	売上高	8,854	9,000	9,313	+5.2%	+3.5%
	営業利益	423	450	557	+31.7%	+24.0%
	同率	4.8%	5.0%	6.0%	+1.2p	+1.0p

- 【IT】金融・保険業向けソリューション案件の受注増加
- 【プロダクト】通信インフラ分野向け開発案件の受注増加

# ITソリューション事業 概況(1)

## 事業区分別売上高

(単位:百万円)

ITソリューション	2012/3期 実績		2013/3期 実績		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
ソリューション事業	8,916	57.1%	9,809	58.7%	+892	+10.0%
システム運用事業	2,773	17.7%	2,673	16.0%	△99	△3.6%
データセンター事業	2,744	17.6%	2,632	15.7%	△112	△4.1%
システム機器販売	1,060	6.7%	1,430	8.6%	+370	+35.0%
その他	134	0.9%	148	0.9%	+13	+9.9%
合計	15,629	100.0%	16,694	100.0%	+1,064	+6.8%

# ITソリューション事業 概況(2)

## ソリューション事業

- 金融・保険業向けは大型統合案件を中心に伸長
- 製造業向け・官公庁向け案件も前期の落ち込みから持ち直し
- サービス業向け、卸売・小売業向けは厳しい状況が続く
- パッケージソフト開発、クラウドサービス拡充などへ先行投資

## システム運用事業

- 厳しい事業環境が続く
- 既存顧客の深耕、新規顧客の開拓図るも、リカバリならず

## データセンター事業

- 一部顧客のデータセンター統合などの影響により減収
- 大型案件の深耕・開拓図るも、リカバリならず

# プロダクトソリューション事業 概況(1)

## 事業区分別売上高

(単位:百万円)

プロダクト ソリューション	2012/3期 実績		2013/3期 実績		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
組込みソフトウェア 開発事業	6,024	68.0%	6,504	69.8%	+480	+8.0%
デバイス開発事業	2,675	30.1%	2,620	28.2%	△55	△2.1%
その他	154	1.9%	188	2.0%	+33	+22.0%
合 計	8,854	100.0%	9,313	100.0%	+458	+5.2%

# プロダクトソリューション事業 概況(2)

## 組込みソフトウェア開発事業

- 大容量・高速通信の需要増加により、インフラ関連機器のプラットフォーム開発、通信キャリア向けソフトウェア開発が拡大
- 従来型のモバイル開発やカーナビ開発は海外へシフト
- スマートデバイス対応需要などで領域拡大、新規顧客開拓

## デバイス開発事業

- 半導体業界再編の影響を受け、開発需要が減少
- 通信分野や画像処理分野など、セットメーカー向け開発案件でリカバリ



# 経営・財務指標の推移

	2012/3期 期末	2013/3期 第2四半期末	2013/3期 期末
流動比率	164.0%	163.9%	174.2%
固定比率	84.1%	84.5%	78.9%
有利子負債依存率	12.2%	10.5%	10.0%
デット・エクイティ比率	0.20倍	0.17倍	0.16倍
自己資本比率	59.8%	60.3%	61.4%
一株当たり当期純利益	14.84円	16.78円	26.22円
一株当たり配当金	7.50円	7.50円	7.50円

➤ 引き続き、財務体質の健全化を図る

Humanware By Systemware

## 2. 新中期経営計画

および今期計画

# 市場環境と今後の展望

## (事業環境)

- 国内企業の業況感には慎重さが見られるものの、政府の経済政策による成長への期待感の表れから一部に改善の兆し
- グローバル市場の競争力強化に向け、製造業では事業再編の動きが活発化。先行き不透明感も拭えず

## (業界動向)

- 中長期的には顧客企業のIT投資抑制や案件小型化、開発の海外シフト、単価下落等により、受託開発の規模縮小懸念
- スマートデバイスの需要急拡大により、クラウド化やサービス利用が一般化。また、家電、社会インフラ基盤との連携も加速

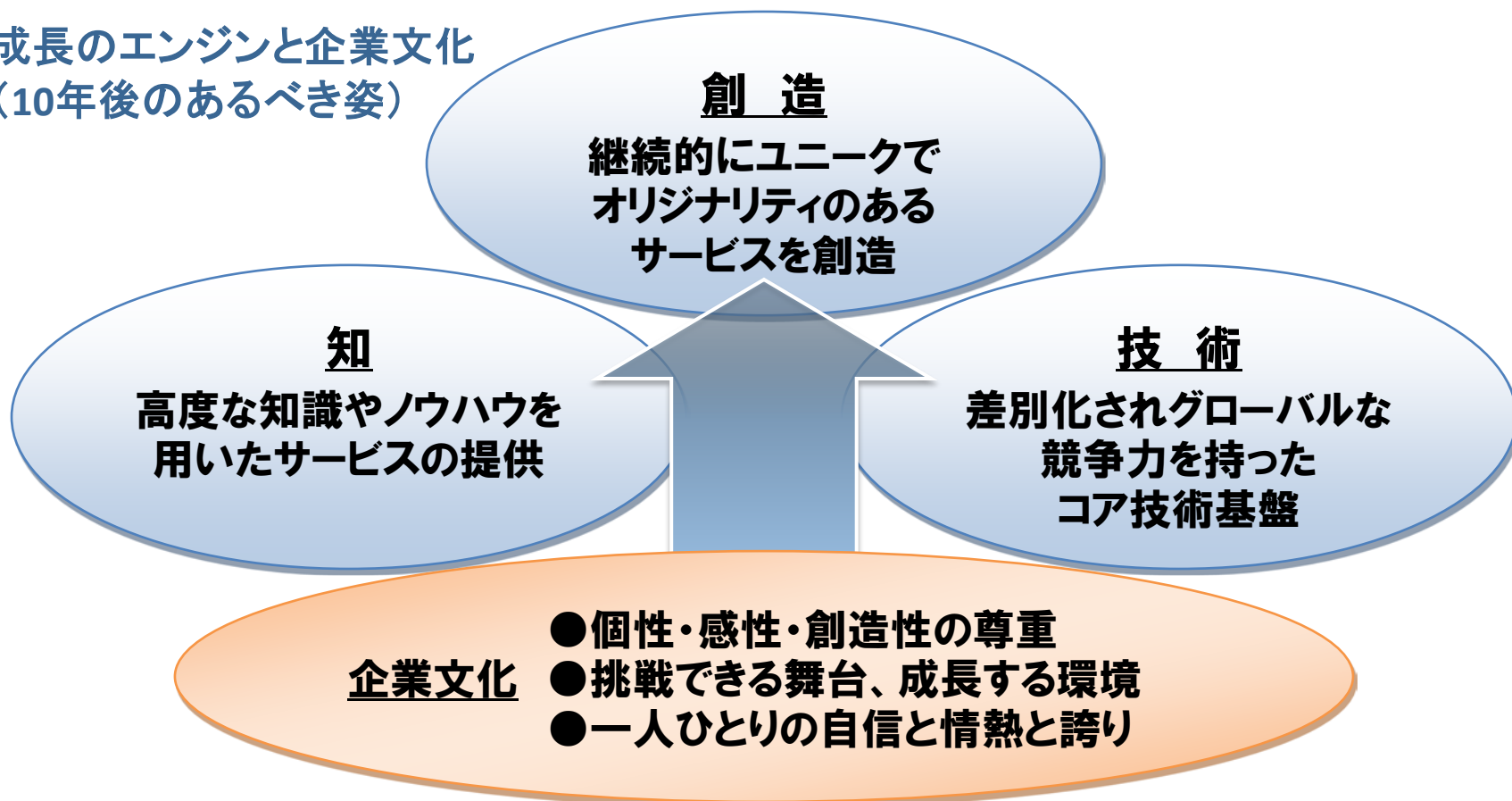


**新たなビジネス創出、価値創造フェーズへ**

## ***NSW Next***

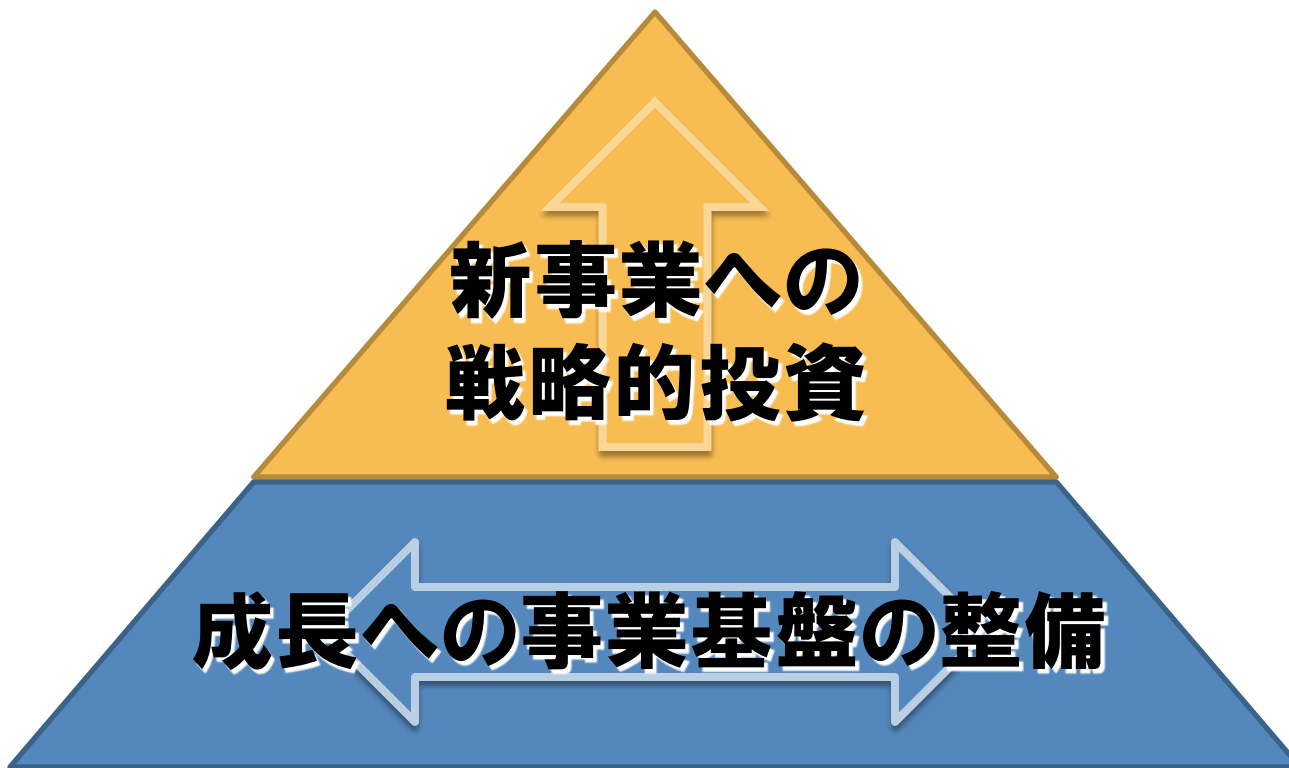
高度なコア技術と知をベースに、オリジナリティのある商品を提供する存在感の大きな企業になる。次のNSWはトップランナーを目指せる企業でありたい。

成長のエンジンと企業文化  
(10年後のあるべき姿)



### 事業構造の変革

既存事業に続く、新たな柱となるビジネスモデルを構築する。  
戦略的投資により、新市場における事業拡大やコア技術の創出に取り組む。



# グループ経営目標

(単位:百万円)

	2013/3期 実績	2014/3期 計画	前期比		2016/3期 計画
			増減額	増減率	
売上高	26,007	27,000	+992	+3.8%	30,000
営業利益	1,124	1,200	+75	+6.7%	2,400
同率	4.4%	4.4%	+0.0p		8.0%
経常利益	1,164	1,200	+35	+3.1%	2,400
同率	4.6%	4.4%	△0.2p		8.0%
当期純利益	390	660	+269	+68.9%	1,300
同率	1.6%	2.4%	+0.8p		4.3%

- 2015年度に売上高300億円、営業利益率8%以上(過去最高益)の達成を目指す

# セグメント別事業目標

(単位:百万円)

		2013/3期 実績	2014/3期 計画	前期比		2016/3期 計画
				増減額	増減率	
IT ソリューション	売上高	16,694	17,400	+705	+4.2%	19,000
	営業利益	566	610	+43	+7.6%	1,400
	同率	3.4%	3.5%	+0.1p		7.3%
プロダクト ソリューション	売上高	9,313	9,600	+286	+3.1%	11,000
	営業利益	557	590	+32	+5.8%	1,000
	同率	6.0%	6.1%	+0.1p		9.1%

① 『1:nビジネス』の強化・拡大

② 事業領域の拡大、サービスの共創

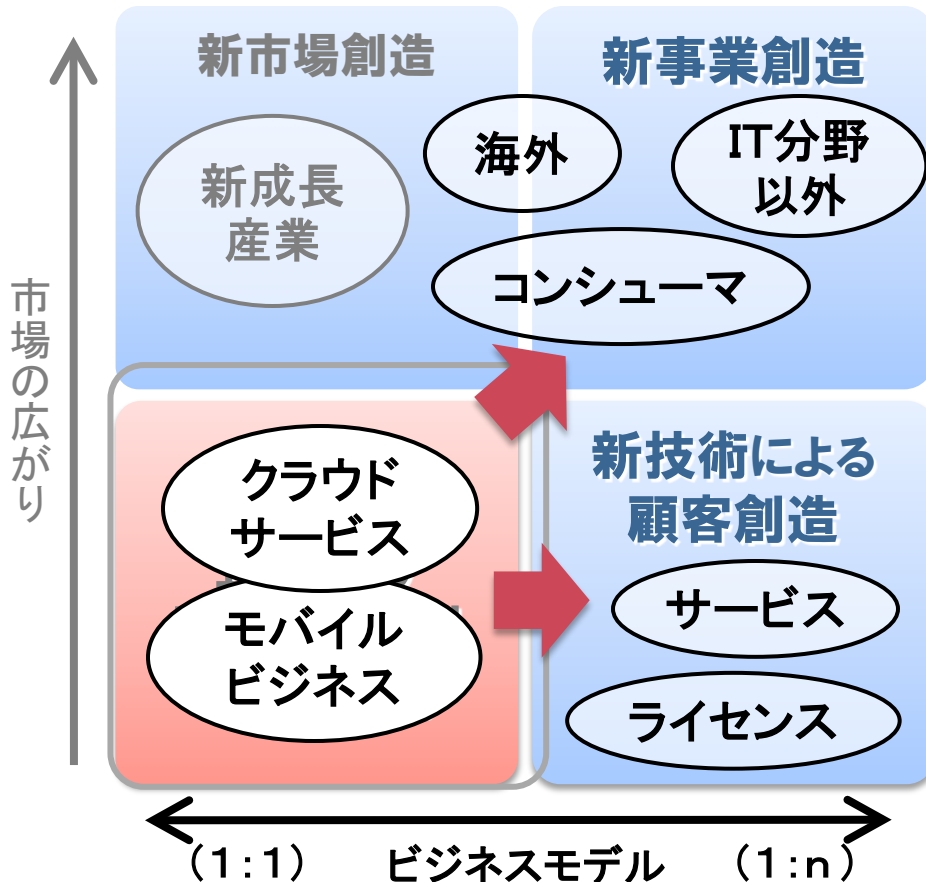
③ 成長への事業基盤の整備





## 『1:nビジネス』の強化・拡大

⇒当社グループが持つ知財の対価を得るビジネス



### 「事業戦略室」を発足

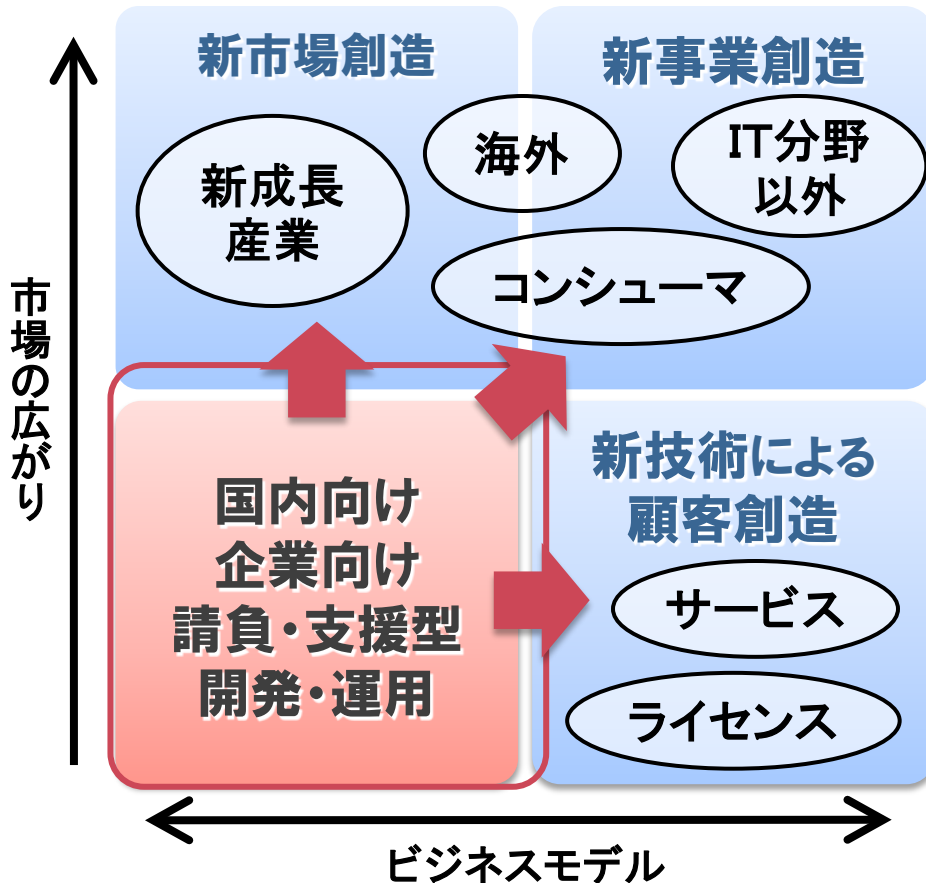
事業ライフサイクル全体の価値最大化

*Research*  
*Planning*  
*Incubation*

グループ内の  
事業創出を牽引

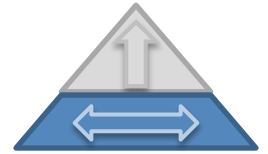
- 事業創造プロセスの確立
- 既存事業ドメインにおける1:nビジネス推進
- 新領域における事業創出

## 事業領域の拡大、サービスの共創



- 既存技術・ソリューションの価値展開による新市場開拓
- 潜在顧客価値・ニーズの掘り起こしによる、新たなサービス創造
- 両事業セグメントの連携、他社との協業アライアンスなどによるサービス共創

## 成長への事業基盤の整備



### (1) 受託ビジネスの競争力強化

- コア技術の拡充
- 保有資産のサービス化・パッケージ化によるソリューションの強化、拡充
- マネジメント品質向上『SMup活動』推進

*Solution  
Management up*

### (2) グループシナジー強化

- より密接な事業連携と、管理機能の最適化・効率化

### (3) 財務体質の継続的改善

- 持続的成長に向けた投資、有利子負債の圧縮、安定した株主配当など、バランスのとれた財務戦略の実現

## ITトータルソリューションサービスの実現 サービス構築型からサービス共創型への変革

クラウド基盤を  
核とした事業推進

専門業種・業務ノウハウ  
を活かした  
トータルソリューション提供

パッケージベースの  
アセット型SI事業確立

高付加価値型  
運用・DCサービスの  
拡大

## New Product Solutionの実現 IoTとサービスによる新たなソリューション提供の拡大

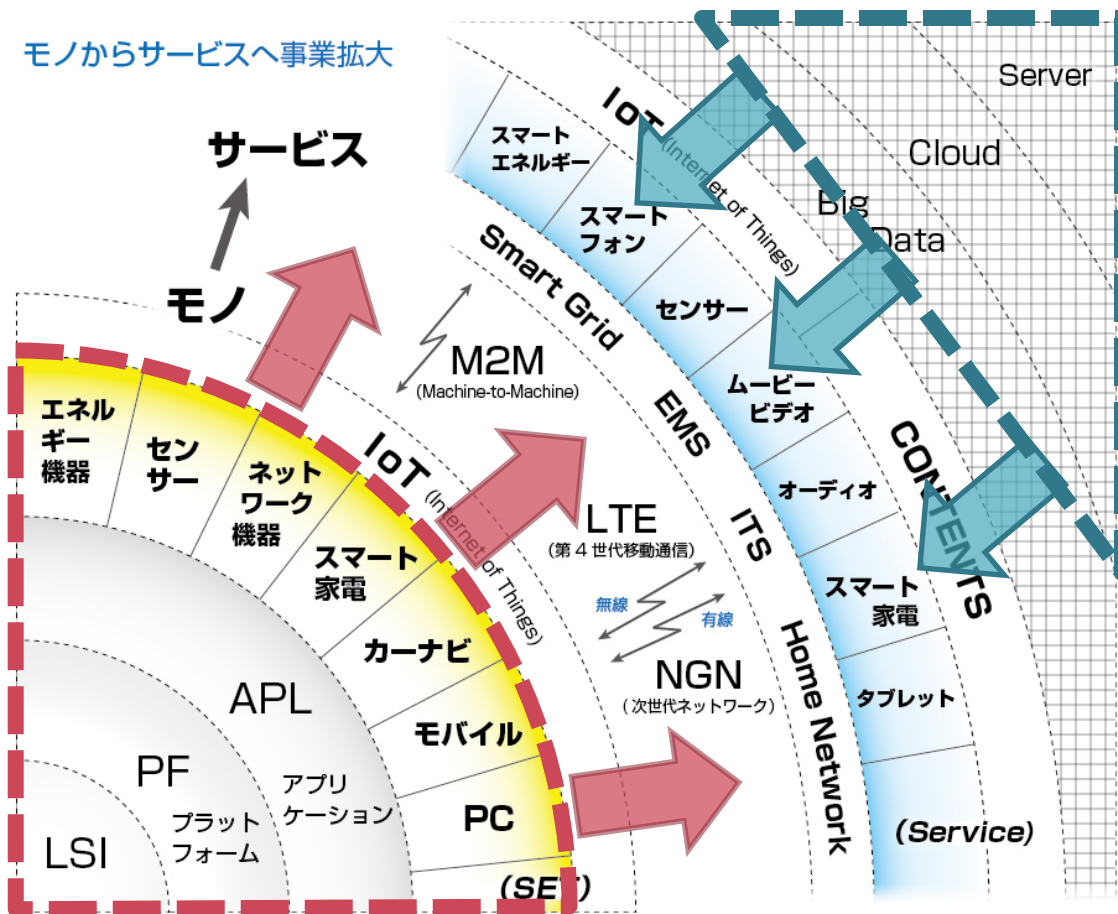
EMS、ITS、ホーム  
ネットワークなど  
新ソリューション提供

既存分野の深耕、  
新領域（エネルギー、社会  
インフラ、医療など）の開拓

サービス事業展開、  
プロダクト・ライセンス  
販売の拡大

LSI開発における  
ワンストップソリューション展開、  
開発プラットフォーム提供

# 事業シナジーの強化



IoT : Internet of Things  
“モノ”をインターネットに  
接続する技術

## 未来へ成長する次のNSWへ

**NSW**

Humanware By Systemware